

平成 19 年度 第 3 回「トーキョーワンダーサイト運営諮問委員会」 議事要点

- 1 日時 平成 20 年 3 月 14 日(金) 17:30 ~ 19:30
- 2 場所 トーキョーワンダーサイト青山 308 号室
- 3 出席者 岩淵委員、太下委員、井口委員、片山委員、長尾委員、森委員、湯浅委員
館長、副館長、事業課長

4 次第ならびに発言要旨

(1) 意見交換

資料説明

事務局より、「平成 19 年度事業の実施状況及び評価」「平成 20 年度の目標」
「平成 20 年度予定事業の概要」「平成 20 年度事業評価の実施」について説明。

意見交換

事務局からの説明に対して、以下のようなご意見が交わされた。

[広報について]

- ・ TWS の活動がまだ十分に知られていない。特に音楽関係などもっと知られるべき。
- ・ Web などの技術を利用して、より「見てもらう」仕組み作りが必要ではないか。
Web での展開はこれまで以上に重要となる。
- ・ TWS 事業は Web による広報と相性が良いので、ブログ形式の展覧会批評、活動記録の蓄積・掲載など広報に Web をより活用していくことが必要。
- ・ 事業数を減らしてでも広報をもっと充実させるという方法も検討すべき。

[TWS 活動記録誌・季刊紙(TWS News)について]

- ・ TWS NEWS は実例を入れながら TWS の事業を体系的に見せており、充実した内容で非常によいものに仕上がっている。
- ・ これを機会に活動記録誌のフォローとして、1 年分のまとめを作っていくことを考えるべきである。まずは TWS News に盛り込む事例などや、データ集の作成などをまとめていくのがよいのではないか。
- ・ 図書館に設置する、抜粋版の PDF を期間限定でホームページからダウンロードできるような仕組みを検討するののも一つの方法。
- ・ TWS NEWS は海外での配布も想定し、是非バイリンガルで作成してほしい。

[レジデンスプログラムについて]

- ・ 二国間交流事業等については、派遣についての応募者数が伸び悩んだ。早期告知とともに、レジデンス派遣中のアーティストの負担（不在時のアパート維持・アルバイト等）についても考慮する必要がある。

[音楽事業について]

- ・ TWS で公演しているアーティストは世界的に見ても一流の演奏家なので、TWS 渋谷の会場ではもったいない。より広いスペースでの公演を行うべき。

[ワンダーシードについて]

- ・ ワンダーシードからワンダーウォールという体系的な流れができておりよい。
- ・ 参加者の平均年齢が若くなっているためか、数年前と比較し全体的に価格が安くなっている。

[事業評価について]

- ・ 現在の評価視点は、「実施したという」事実のみの報告となっているのでより客観的な評価を行うべき。
- ・ 評価シートには昨年度実績との比較ができるよう併記してほしい。課題への対応についても同様。
- ・ 政策 - 施策 - 事業に体系づけられた評価が必要。そのためには、個々の事業評価・分析にとどまるのではなく、評価の全体体系を作ることが必要。

[収支について]

- ・ 入場料収入は少ないが、カフェの管理手数料が多い点が評価できる。管理手数料からの利益を上げるよう今後も継続すべき。

[協賛金制度等について]

- ・ 企業からの協賛金については、マーケティング的な視点での仕組みも検討すべき。
- ・ 企業の CSR プログラムのプロデュースを行い、企業からプロデュース料をもらうというような逆転の発想も必要。（企業メセナ協議会ではプロデュース事業を実施）TWS の事業ノウハウは事業ノウハウのパッケージ化できるのではないか。また、自らを事業化していくモデルを提示し、東京都に付加価値を与えていることを都民にアピールできることも必要。

[事業全体について]

- ・ TWS 事業は今まで短期的な事業が多かったので、今後は長期的な事業に取り組んでもらいたい。
- ・ ミッション・オリエンテッドな組織を目指してほしい。

5 閉会

以上

平成19年度事業実施状況

トーキョーワンダーサイト本郷

事業名	日程	観覧者数	内 容
企画公募展 (Video Art From London)	4/1～4/22	673	若手のキュレーターを対象に企画を公募した 展覧会。 (前年度(3/28)からの継続展示。観覧者数は4/1以降) 19年度の企画公募展は、6月に公募を実施 した。22人が応募し、3人が入選。入選者の 企画による展覧会は3月に実施の予定。
企画公募展(Double Cast)	4/1～4/22	673	
企画公募展(華・非・華)	4/1～4/22	673	
INDEX展 ー経験の効用ー	5/5～6/3	737	ゲストキュレーターを招き、関西名古屋地区の若手クリ エーターを紹介する展覧会を開催するもので、今年度 で3回目になる。京都展2か所、東京展1か所の 計3か所で開催し、ほとんどが80年代生まれの 20代の若手アーティスト10人が出品している。
トーキョーワンダーサイト・エマージング①	6/9～7/1	629	トーキョーワンダーウォール入選者の中から毎年 10～ 20名のアーティストを選出して、作品発表の機会を提供 し、自作品のプレゼンテーションの方法や観客とのコ ミュニケーションなどを実際に学んでもらうことを目的とし た展覧会。 (展示アーティスト) ①072長井朋子、073佐貫巧 ②074池田拓馬、075トモエ、076中島健 ③077恵木亮太・078後藤靖香 ④079清水智裕・080長浜憲二 ⑤081吉岡雅哉・082笹井信吾・083森裕子 ⑥084勝正光・085石本かや乃 ⑦086平林幸壽・087小松正朋・088目黒礼子 ⑧089こんどうさちほ・090タニケニタ・091渡邊悠子 ⑨092うらうらら・093工藤春香・094高石晃
トーキョーワンダーサイト・エマージング②	7/7～7/29	439	
トーキョーワンダーサイト・エマージング③	8/4～8/26	391	
トーキョーワンダーサイト・エマージング④	9/1～9/23	358	
トーキョーワンダーサイト・エマージング⑤	9/29～10/21	344	
トーキョーワンダーサイト・エマージング⑥	10/27～11/18	502	
トーキョーワンダーサイト・エマージング⑦	11/24～12/16	502	
トーキョーワンダーサイト・エマージング⑧	12/22～1/20	359	
トーキョーワンダーサイト・エマージング⑨	2/16～3/9	767	
〇コレクションによる空想美術館①	5/5～7/1	1,366	精神科医、アートコレクターであり、アートプロデュース 集団アートアセファルの代表を務める岡田聡氏所蔵コ レクションより日本人若手アーティストの作品を展示。 (展示作品の作家)
〇コレクションによる空想美術館②	7/7～9/23	1,188	①加藤泉、桑原正彦 ②東恩納裕一、三嶋章義、大庭大介
On Site Lab Emerging Artist Support Program Music 2007 「21世紀を担う新鋭たちの響き」	1/24～1/27	406	若手現代音楽家の支援育成を目的とするコンサート。 19年度は一般公募のほか、審査員・TWS推薦により選出され たアーティスト12名によるコンサートを開催。なお、地元本郷 の中学生を対象に、公開リハーサルを開催(参加者15名)。 (出演アーティスト) ・西久保友宏(マリンバ)、柴原誠(打楽器) ・藤井隆史&白水芳枝(ピアノデュオ) ・植村理菜(ヴァイオリン)、一宮明代(ピアノ) ・橋本晋哉(チューバ)、甲斐史子(ヴァイオリン、ピオラ) ・松平敬(バリトン)、藤田朗子(ピアノ) ・寒川晶子(ピアノ) ・デニス・パトコヴィッチ(アコーディオン)
永島京子レジデンス帰国報告会 (パリー東京二国間交流事業)	2/2～2/3	632	パリー東京二国間交流事業の派遣作家永島京子によるレジデ ンス帰国報告会および作品展示。滞在先のパリにて撮影した 作品を交え、海外のレジデンス滞在について紹介。
計		10,639	

(観覧者数は20年2月29日現在)

トーキョーワンダーサイト渋谷

事業名	日程	観覧者数	内 容
THE EAST/WESTPROPAGANDA PROJECT- OBEY GIANT VERSUS WK INTERACT	4/1~4/22	2,261	世界的に活躍するストリートアーティスト、OBEY GIANTとWK INTERACTがTWS青山で滞在制作した作品を展示。 (前年度(3/17)からの継続展示 観覧者数は、4/1以降)
東京画 - ささやかなワタシのニチジョウのフーケイ	5/12~6/24	2,102	若手アーティストによる「東京」の今を映し出す作品を中心とした展示。会期中も各作家がドローイングを持ち寄り、TWS青山のスタジオでアーティスト同士が同じ場を使って制作するなど、日々新たなモノ・コトが生み出された。 (展示アーティスト) 近藤恵介、鮫島大輔、須藤由希子、奈良エナミ、日野之彦、原良介、福居 伸宏
”ritual” TEAM07塚田守・08大野智史・09千葉正也	7/7~8/19	2,326	TEAM展は、ある程度のキャリアを積んで注目度が集まり、今後のさらなるステップアップが期待されている若手アーティストのサポートを行っていく企画で、今回は3名のグループ展となった。 (展示アーティスト) TEAM07塚田守・08大野智史・09千葉正也
TWS青山: クリエーター・イン・レジデンス成果発表展覧会	9/8~11/25	3,037	平成19年度上期にトーキョーワンダーサイト青山 クリエーター・イン・レジデンスに滞在した、それぞれの地域のコンテンポラリーアートシーンを代表する実力派若手アーティストによるグループ展。 (展示アーティスト) マリーナ・カポス(アメリカ) JNPプロダクション(韓国、ビデオアートユニット) ボスコ・ソーディ(メキシコ)
カリン・レヴァイン&ローハン・デ・サラム デュオコンサート 「20世紀の現代音楽と現在」	9/27	47	現代音楽シーンで国際的に活躍する演奏家を招いてのコンサート。 (出演) カリン・レヴァイン(フルート) ローハン・デ・サラム(チェロ)
竹ノ内博明ピアノリサイタル	11/26	80	H18年度TWS若手音楽家支援プログラム<音楽企画公募>に入選、H19年1月の企画実施公演を成功させたピアニスト、竹ノ内博明によるソロリサイタルを開催。
デジタルアートフェスティバル東京2007	12/6~12/11	705	NHK-BS2のTVプログラム「デジタル・スタジアム」との連携事業。今年度から規模を拡大し、パナソニックセンター東京、富士ソフトアキバプラザ、TWS渋谷の3拠点で開催。
DAF Short Presentation Replay @TWS Art Cafe kurage	12/10	46	デジタルアートフェスティバル東京2007に出品中の作家、アントナン・フルノー、ポストシアター、長内智子、山本麻衣子等による作品紹介をTWS渋谷アートカフェkurageにて開催。
TWS青山: レジデンス成果発表展覧会(ジェームス・リンチ展、ジェローム・フォルタン展)	12/22~1/27	1,307	TWS青山レジデンス滞在制作の成果発表展。 オーストラリア出身のメディアアーティスト、ジェームス・リンチによる映像インスタレーションと、カナダ出身のジェローム・フォルタンによる新作インスタレーションを展示。
「協働スタジオプログラム 若手交流ワークショップ2 “都市への対話と関わり〜創造教育に向けて”」成果発表展	12/22~1/27	1,307	TWS青山にて開催された協働スタジオプログラムの成果発表展を開催。東京の河川リサーチを元に制作された映像作品、ワークショップの記録及び作品等を展示。
TWS ART café extension	12/22~1/27	1,307	TWS渋谷スペースAにてTWS-Emerging作家の作品を展示し、期間限定のカフェスペースとして開放。気軽に作品に親しむことのできる交流スペースを創出。
TEAM10金氏徹平”Ghost In The City Lights”、TEAM11鈴木ヒラク”NEW CAVE”	2/2~3/2	1,411	実力派若手アーティストを紹介するTEAM展の第2回。TWS青山での滞在中に制作した新作を含めた金氏徹平と鈴木ヒラクの2人展を開催。
計		15,936	

(観覧者数は2月29日現在)

トーキョーワンダーサイト青山

事業名	日程	観覧者数	内 容
ミハエル・ギーラー ヴィオラ・マスタークラス	4/10～4/13	36	Royal Concertgebouw Orchestra首席ヴィオラ奏者でアムステルダム音楽院教授のミハエル・ギーラー氏を講師に迎え、若手音楽家を対象としたヴィオラの個人レッスンを開催。
ロバート・カール公開作曲レッスン	6/15	6	現代音楽の作曲家ロバート・カールを講師に迎え、日本の若手作曲家を対象とした、公開作曲レッスンを開催。
ボスコ・ソーディ Open Studio	8/2～8/8	38	TWS渋谷での展覧会(H19年9月)に先駆け、ボスコ・ソーディのスタジオを「オープン・スタジオ」として、TWS青山にて滞在制作した作品、制作風景などを公開。
カリン・レヴァイン フルート・マスタークラス	9/28～9/30	19	独・仏で毎年開催される「若手音楽家のための室内楽セミナー」の教授でもあるフルーティスト カリン・レヴァインを講師に迎え、フルートコース、作曲コースの個人レッスンを開催。
協働スタジオプログラム(On Site Lab Workshop-Series2) “都市への対話と関わり～創造教育に向けて”東京ーロンドン 文化交流プログラム&シンポジウム	11/18, 25	82	ロンドン芸術大学と連携し、日英両都市の13名のチューターのもと、日英若手クリエイターが「都市との対話」をテーマにワークショップを開催。 公開イベント11/18、公開シンポジウム11/25
ジュード・ケリーさんを囲む会	2/13	18	サウスバンク・センター芸術監督、ロンドンオリンピック2012文化教育委員会最高責任者ジュード・ケリーと、日本の若手文化リーダーとの意見交換会を開催。
呉達坤(ウー・ダークン)作品制作ワークショップ	2/26, 28	19	マルチメディア・アーティスト ウー・ダークンによる、ストリート・パフォーマー、ボランティアを対象とした作品制作ワークショップを開催。
計		218	

(観覧者数は20年2月29日現在)

(共催・連携企画)

事業名	日程	観覧者数	内 容
アオヤマ・アート・ジャンクション2007 ツアートーク+ライブ (表参道スターボックスコーヒー各店)	10/28	110	アオヤマ・アート・ジャンクション(青山芸術祭)との連携企画。表参道のスターボックスコーヒー各店舗にて、TWS出身アーティストの作品展示、ライブを開催とともにガイドツアーを実施。
アートの課題 異文化の対話についての東京ラウンドテーブル (セルバンテス文化センター東京)	12/1	74	GOETHE-INSTITUT ドイツ文化センターとの連携企画。ハンブルク・クンストフェルアイン・ディレクターのイルマズ・ズィエヴォル、キュレーターのアグン・フヤットニカ等を招いた公開シンポジウムを開催。
三木のり平さんがTVCMに残した日本文化On-Line展ワークショップ	2/29～3/2	10	「三木のり平さんがTVCMに残した日本文化On-Line展国際ワークショップ実行委員会」との共催企画。ピーター・バラカン、梅若猶彦等を講師に招き、社会人向け、10代中心の子ども・青少年向けそれぞれのワークショップを開催。
計		194	

(観覧者数は20年2月29日現在)

(TWS Gathering / Wednesday Lounge Artist Talk)

(TWS渋谷)

事業名	日程	観覧者数	内 容
トーキョー・カラフル・ファインダー・ラウンジ、アシューム・ビビッド・アストロ・フォーカス with 新田桂一	10/28	133	“TOKYO COLORFUL FINDER LOUNGE”と題し、avafと、ファッションフォトグラファー新田桂一氏によるフォトセッションとハロウィン・パーティを開催。
「ぱぶくいず」Abakeのトリビア・クイズ大会&トーク	11/3	103	デザインタイドとの連携によるスペシャル企画。abakeによる英国パブ風店内装飾プロデュース「THE JELLYFISH ARMS」(TWS渋谷アートカフェkura)も同時開催(11/1~11/4)
ドンヒー・クー オープンスタジオ&トーク	11/13	45	ソウルー東京二国間交流事業招聘アーティスト、ドンヒー・クーによるTWS渋谷アートカフェkuraでのオープンスタジオ(11/7~13)及びアーティストトーク(11/13)を開催。
オルガ・カルピンスキー トーク	11/16	43	舞台衣装デザイナーのオルガ・カルピンスキーによるトーク。世田谷パブリックシアターで11/15から開催する舞台「審判」の楽屋裏映像をもとに、カルピンスキーの作品を紹介。
「VISUALPHILOSOPHYへ向けて」公開ディスカッショントークイベント	1/22	54	TWS出身アーティスト、河合政之、永岡大輔、佐原和人による映像展示及び公開ディスカッションイベント。
ラップトップオーケストラ+フィリップ・シャトラン+荏開津広 トーク&サウンドマップワークショップ	2/6	78	ラップトップオーケストラ主催者フィリップ・シャトラン、現代音楽批評家荏開津広にによるトークとワークショップを開催。
Sissiパフォーマンスイベント「色彩の尾」	2/21	74	彫刻作品からインスタレーション、パフォーマンス等のジャンルで作品制作をするアーティストSissiによるパフォーマンス及びプレゼンテーションを開催。
Sunjung Kim キュレーター公開講評会／Stefan Riekeles “Surface Refinement (表象精製)”公開キュレート企画	2/27	74	国際的なキュレーターのSunjung KimとStefan Riekelesが、過去にTWS-Emergingプログラムで展示経験のあるアーティストを招き公開講評会・ポートフォリオセッション等を開催。
計		604	

(観覧者数は20年2月29日現在)

(TWS青山)

事業名	日程	観覧者数	内 容
vol.1 キャレン・マッコイ	5/9	38	現在制作中のドローイング「コンセプトチュアル・マップ」の日本における発展について作家より解説。また派遣滞在を支援しているACCを紹介。
vol.2 ロバート・カール	5/16	20	本滞在中の調査研究『ポスト・武満世代』の作曲家たちへのインタビュー・シリーズについて、作曲家ロバート・カール本人より解説。
vol.3 ユーグ・レップ	5/23	37	H19年9月14日～10月27日にパリのアニエスベーのギャラリー:Galerie du jour agnès b.で行われる個展に向けての作品制作過程、またこれまでの活動について解説。
vol.4 ショーン・アイロンズ&ローレン・ペティ	6/1	19	ビデオ・アーティストであるショーン・アイロンズ、ローレン・ペティによるこれまでの活動についての解説など。
vol.5 マリーナ・カポス	6/27	46	TWS渋谷での展覧会(H19年9月)に先駆け、現在制作中の作品およびマリーナ・カポス本人の世界観について語り、スタジオも一般公開した。
vol.6 キャサリン・アレクサンダー	7/17	16	世界各地で上映された『エレファント・バナニッシュ』(2003年発表)制作時のエピソードや、新作に関わる意気込みについて演出家キャサリン・アレクサンダーより紹介。
vol.7 マーク・ルブラン	7/25	26	「現代アートにおけるメディア・ネットワークの可能性」と題し、Survivart長内綾子氏、慶應義塾大学DMC統合研究機構 山村真紀氏を招いてのトークセッションを開催
vol.8 ボスコ・ソーディ	8/1	35	滞在制作した作品を公開、およびこれまでの作品についてボスコ・ソーディ本人より解説。
vol.9 JNPプロダクション	8/22	16	TWS渋谷での展覧会(H19年9月)に先駆け、第6回光州ビエンナーレ(H18年9月～11月)での出品作品や、今回の東京における滞在制作について紹介。
vol.10 ジェームス・リンチ	10/17	17	TWS渋谷での展覧会(H19年12月)に先駆け、これまでの活動や今回の制作について、ジェームス・リンチ本人より紹介。
vol.11 ハンスユルク・ブーフマイヤー	10/24	16	スイス大使館推薦の著名アーティスト、ハンスユルク・ブーフマイヤーにより、彼の多岐にわたる作品の数々とその背景について解説。また東京滞在中に撮影した写真作品についても合わせて紹介する。
カーステン・ニコライ アーティスト・トーク・ラウンジ	10/28	31	アーティスト、電子音楽、ミニマルデザインと多才な活躍を行うカーステン・ニコライによるトーク。東京都現代美術館での“Space For Your Future”展(10/27～)出品作品について作家自ら作品紹介を行う。
モーリッツ・ワルドメイヤー アーティストトーク	11/3	22	デザインタイドとの連携企画。英国ロイヤル・カレッジ・オブ・アート講師モーリッツ・ワルドメイヤーによるアーティストトークを開催。
ヒース・ナッシュ トーク&ワーク ショップ	11/3	25	デザインタイドとの連携企画。南アフリカの作家ヒース・ナッシュによるワークショップを開催。
サキ・サトム、キャロライン・マッカーシー、 マイケル・クレーガ ワーク ショップ	11/4	10	イギリスを拠点とする3人のアーティストと参加者が共同で作品を制作するワークショップ。完成作品を使い、TWS青山にてマイクロ展覧会を開催。
テレーサ・ルドヴィゴ ディレクターズ・トーク	12/17	8	脚本・演出家テレーサ・ルドヴィゴにより、12/14から世田谷パブリックシアターで上演される「にんぎょひめ」の舞台等自身の活動について語る。
対談「アート」を生む「場」をつくる 川俣正×今村有策×幅充孝	2/20	52	現代アーティスト川俣正と、TWS館長今村有策、ブックセクターBACH代表の幅充孝の3人の対談イベント
計		434	

(観覧者数は20年2月29日現在)

(二国間交流事業)

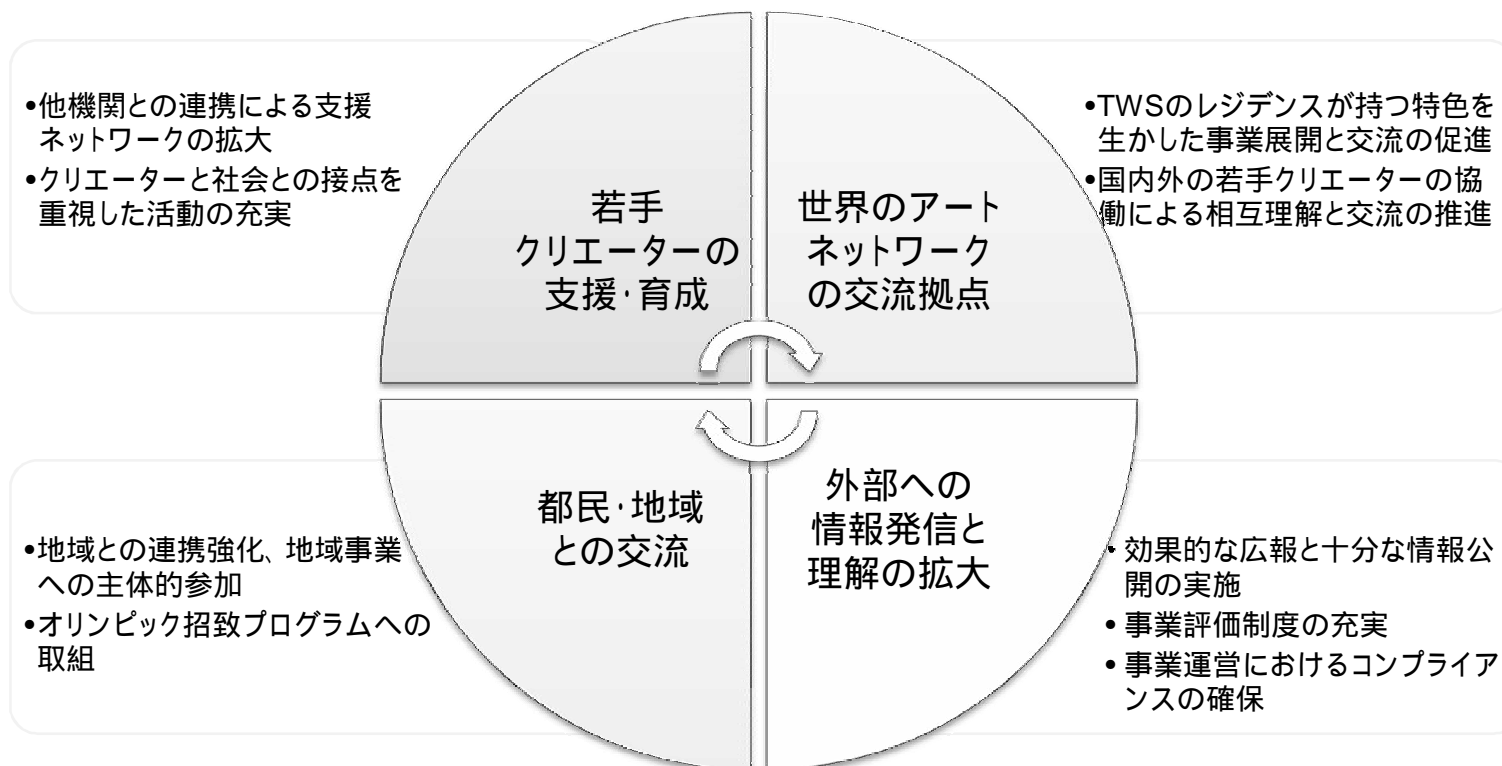
プログラム	招聘/派遣	招聘・派遣アーティスト	事業内容	期 間
メキシコ-バルセロナ-東京 二国間交流プログラム 協力:在バルセロナメキシコ領事館	招聘1名	ボスコ・ソーディ(美術)	・滞在制作及びオープンスタジオ(平成19年8月1日～8日) 滞在场所:トーキョーワンダーサイト青山 ・アーティストトーク(平成19年8月1日) ・「TWS青山:レジデンス成果発表展覧会」 (平成19年9月8日～11月25日、トーキョーワンダーサイト渋谷)	6/11～8/13
	派遣1名	塚田守(写真) 応募総数 12名 受入場所:ヨーロッパ・デザイン・インスティテュート(バルセロナ市・スペイン)	・滞在制作 受入場所:ヨーロッパ・デザイン・インスティテュート(バルセロナ市・スペイン)	1/14～3/20
パリ市-東京 二国間交流プログラム	招聘1名	アントナン・フルノー(美術)	・滞在制作 滞在场所:トーキョーワンダーサイト青山 ・「デジタルアートフェスティバル東京2007」 (平成19年12月6日～11日、トーキョーワンダーサイト渋谷)	9/21～12/21
	派遣1名	永島京子(デジタル・アート) 応募総数 8名 受入場所:Cite Internationale des Arts(パリ市)	・滞在制作 受入場所:シテ・デザール(パリ市・フランス) スタジオ:ル・キューブ(パリ市・フランス) ・オープン・スタジオ ・レジデンス帰国報告会 (平成20年2月2日～3日、トーキョーワンダーサイト本郷)	9/3～11/29
ソウル市-東京 二国間交流プログラム	招聘1名	ドンヒー・クー(映像、写真)	・滞在制作 滞在场所:トーキョーワンダーサイト青山 ・TWSアートカフェkurageにてオープンスタジオ (平成19年11月7日～11月13日) ・アーティストトーク&イベント(平成19年11月13日)	9/5～11/30
	派遣1名	佐々木愛(絵画) 応募総数 4名 受入場所:サムジースペース(ソウル市)	・滞在制作及びオープンスタジオ 受入場所:サムジースペース(ソウル市)	1/7～3/31
台北-東京 二国間交流プログラム	招聘1名	呉達坤(ウー・ダークン)(マルチメディア・批評)	・滞在制作 滞在场所:トーキョーワンダーサイト青山 ・トーキョーワンダーサイト青山にて作品制作ワークショップ (平成20年2月26日、28日) ・「ウー・ダークン:迷樓---東京」 (平成20年4月(予定)、トーキョーワンダーサイト渋谷)	1/4～3/31
	派遣1名	荒川創也(あらかわ そうや)(映像、舞台) 応募総数 5名 受入場所:台北国際芸術村(台北市)	・滞在制作及びオープンスタジオ 受入場所:台北国際芸術村(台北市)	1/4～3/31

(協働スタジオプログラム)

	プログラム	事業内容	期 間
協働スタジオプログラム	“都市への対話と関わり～創造教育に向けて” 東京ーロンドン 文化交流プログラム&シンポジウム	<ul style="list-style-type: none"> ・公開イベント チューター(講師)活動紹介 (11月18日、トーキョーワンダーサイト青山) ・オリエンテーション「日本における水辺環境の変遷」 (財)日本生態系協会ランドデザイン総合研究所所長 松浦重徳氏 (11月19日、トーキョーワンダーサイト青山) ・アウトドアリサーチ(東京の河川、運河、港湾) レクチャー「東京都の環境に対する取り組みについて」 東京都建設局公園緑地部・東京都環境局自然環境部 (11月20日、隅田川、東京湾、夢の島) ・レクチャー 「GEICの活動紹介と日本の環境NGOについて」 地球環境パートナーシップ(GEIC)事務局長 星野智子氏 「東京の河川からのランドスケープについて」 法政大学教授 陣内秀信氏 (11月21日、トーキョーワンダーサイト青山) ・公開シンポジウム チューター(講師)及び参加者によるワークショップの 成果発表シンポジウム「創造教育に向けて」 (11月25日、トーキョーワンダーサイト青山) 	11/18～25
	「協働スタジオプログラム 若手交流ワークショップ2」 “都市への対話と関わり～創造教育に向けて”成果発表展	トーキョーワンダーサイト渋谷において、 協働スタジオプログラムの成果発表展を開催 (12月22日～1月27日、トーキョーワンダーサイト渋谷)	12/22～1/27

平成20年度事業目標(案)

平成20年度目標:「外部との連携強化によるTWS事業の充実
～東京・世界の中でのTWSの位置づけを明確化する」



平成20年度予定事業の概要

事項	内容	規模等	場所	特記事項
(若手アーティストの支援・育成)				
TWSエマージング	平成19年度トーキョーワンダーウォール(TWW)入選者から選考した若手アーティストの展覧会。	展示アーティスト19名 6月-12月に7回実施	本郷	19年度TWW入賞者のうち51名応募があり、そのうち19名を選出。展示アーティストに対しては、専門アドバイザーの協力を得て、実践的な展示ノウハウ等の支援を充実する。
大学連携プログラム	芸術大学と連携した、若手アーティストの紹介	京都展 東京展(TWS)	本郷	ゲストキュレーターにより選出した大学に在学中または卒業直後の若手アーティストを紹介する展覧会を開催するもので、今年度で3回目となる。19年度から京都展の会場が2か所に増加。TWS会場と合わせ、3会場にて開催。
企画公募展	若手のキュレーターを対象に企画を公募した展覧会。入選者はワンダーサイトの支援を受けて企画した展覧会を実施。	公募:平成20年5月 展覧会:平成20年度中、全6回 (前年公募分を含む)	本郷	アーティストとともに展覧会を創ってゆく企画者に対する支援育成を目的とした事業。入選した企画者に対する支援の充実が課題である。
若手音楽家支援プログラム	若手音楽家又は若手企画者の育成・サポートプログラム。公募により選出した若手音楽家が自ら企画	公募:平成20年5月-6月 コンサート等:平成21年1月	本郷	若手音楽家の発掘と育成を目的とした支援プログラム。事業企画の応募者の拡大に取り組む必要がある。
TEAM	若手アーティストのステップアップを目的としたグループ展。アーティスト支援を目的とした展示作品の販売も行う。	4-6月 屋代敏博 6-8月 竹村京、雨宮庸介	渋谷	19年度は対象者のうち2名がレジデンスで滞在制作を行い、成果発表の形でTWS渋谷での展示を行った。20年度についても「レジデンスでの滞在制作 成果発表」という流れとする。
ワンダーシード展	若手アーティストによる小品公募展。展示と同時にアーティスト支援のための作品販売を行う。	公募:平成20年11月-21年1月 展覧会:平成21年3月	渋谷	19年度は応募者数971名で、過去最高の応募があった。大学等関係機関への早い時期からの広報が、応募者確保のために重要である。
デジタルアートフェスティバル	NHK-BS2のTVプログラム「デジタル・スタジアム」と共催の展覧会。若手アーティストの作品を紹介。	平成20年10月	渋谷	19年度は、「デジタル・スタジアム」入選若手クリエイターに加えて、二国間交流などでTWS青山レジデンスに滞在中の海外クリエイター2名も参加。今後も連携の幅を広げていく。

平成20年度予定事業の概要

事項	内容	規模等	場所	特記事項
(世界のアートネットワークの交流拠点 - レジデンスプログラムを含む -)				
ブラジル交流年事業	ヴィック・ムーニスキュレーションによるブラジル・日本若手アーティスト展	平成20年11月～21年3月	本郷 渋谷 青山	日本・ブラジル友好交流年にちなんだ事業の実施。 キュレーターらがレジデンスに滞在し、ブラジルにおける最新アートシーンを紹介する 展覧会をTWS本郷、TWS渋谷両方にて実施する。
日豪若手 アーティスト展	シドニーのARTSPACEとの連携による日豪アーティストの交換による 展覧会プログラム	平成20年9月～10月	渋谷 青山	日本・オーストラリア友好支援年(平成18年)事業の推進・発展とするもので、オーストラ リアにおける最新アートシーンを紹介する。アーティストがレジデンスで滞在制作し、TWS渋谷 にて成果発表を行う。
多文化間対話	ドイツ文化センター等との共同主催によるイスラム関連のアーティスト のレジデンスの成果発表展	平成20年10月～11月	渋谷 青山	平成19年度はインスティテュート・セルバンテスにてシンポジウムを開催。平成20年度は さらに発展させ、アーティストがレジデンスで滞在制作し、渋谷で成果発表を行う。 「文明の衝突」が言われる中、日本・東京が異なる文化圏の人々との交流、相互理解の 推進に、一定の役割を果たすことが期待される。
レジデンスプログラム、 レジデンス成果発表	国内外の新進・若手アーティストを招聘して、滞在・制作・交流を行う プログラム。アーティストの選定は、各国レジデンス機関との協力のも と、選考委員会により行う	第1期：平成20年5～7月 第2期：平成20年9～11月 第3期：平成21年1～3月	渋谷 青山	平成19年度に引き続き、国際推薦人プログラム、リサーチレジデンスプログラム、大使館 推薦アーティストの受入れ等を進め、滞在者を確保する。 平成20年度は、公募説明会の実施、公募期間の見直し、国内レジデンス機関との連携事 業等を検討する。
協働スタジオ プログラム	アーティストを招き、内外の若手アーティスト及び学生を公募してワー クショップ、共同制作を行う。 インターナショナル・アンサンブル・モデルン・アカデミー オリンピック文化プログラム	平成20年5月～7月	渋谷 青山	平成20年度は、これまでのアートプログラムに加えて音楽プログラム(アンサンブル・モデ ルンアカデミー)を実施する。 アートプログラムと合わせて、内外の若者が共同で1つのプログラムに取り組む企画を通 じ、オリンピック招致の機運を盛り上げる。
二国間交流	次の各市(機関)との交流プログラム。 1.パリ市 2.台北市 3.ソウル 4.中国、他	5か国	青山 他	平成19年度は、4か国の機関と連携し交流事業を実施。派遣アーティストは全て公募によ り選考した。 平成20年度は、規模を5か国の機関に拡大する。 交流相手方との折衝、公募の早期化を図り、派遣プログラムの応募者を確保していく必 要がある。

平成20年度予定事業の概要

事項	内容	規模等	場所	特記事項
(地域交流・教育普及など)				
青少年への教育プログラム	子供から10代の若者への現代アートワークショップを実施	年1回	青山 他	平成19年度は、本郷において若手音楽家による中学生向け公開リハーサルを実施。また青山を会場として、TVCMアニメのコンテンツを題材とした子供・青少年向けワークショップを実施。(慶応大学DMC機構等からなる実行委員会が主催)
オリンピック文化プログラム	若者の祭典オリンピックの文化プログラムへの準備プロジェクト オリンピック・カフェ、 トークイベント等の開催	通年	渋谷	2016年(平成28年)オリンピックの東京誘致を目指して、機運を盛り上げるために、TWS渋谷アートカフェにおいてトークイベント等を開催する。 平成19年度には、2012年ロンドンオリンピックの文化プログラムの策定責任者ジュード・ケリー氏と日本の若手文化リーダーとの意見交換会を行っている。
ギャザリング事業	TWS青山レジデンスに滞在するクリエイターの成果を発表すると共に、アーティストと都民との交流を深めるために、トーク、イベント、オープンスタジオ等を実施する。	通年	渋谷 青山	平成19年度は、青山の他に、TWS渋谷アートカフェkurageにおいて、トーク等のイベントを実施した。
(運営全般に関する事項)				
外部の声の導入	・運営諮問委員会、滞在アーティスト選考委員会の定期的開催 ・専門アドバイザーの活用 ・記者懇談会、教育関係者向説明会の実施			運営諮問委員会では、当館の課題、中期計画等について討議した。(平成19年度3回開催) 滞在アーティスト選考委員会では、レジデンス事業プログラム支援基準等の承認を得た(平成19年度4回開催)
広報、ホームページの充実	広報紙(TWS News)の定期的刊行(季刊) ホームページの速報性向上			平成19年度は、開館以来の事業をまとめた活動記録誌「トーキョーワンダーサイト2001-2006東京が、」を発行した。 平成19年11月に広報紙(TWS News)を創刊。19年度中に2回発行し、一般向けに若手アーティスト育成事業、レジデンス事業について紹介した。
事業評価の実施	館運営全体についての評価、個別事業の評価について内部評価を実施し、運営諮問委員会に報告する。			外部評価委員会の設置に向けて取り組む。
地域との連携	各館において地域の文化事業に参加するなど地域と連携した取組を実施する。			<平成19年度の実績> ・TWS本郷 「文京ミュージックフェスタ」に参加。文京区内の文化施設が文京シビックセンターにおいて事業を紹介するブースを出展。 ・TWS青山 青山アートジャンクション(青山芸術祭中のプログラム)に協力。青山周辺のカフェにおいて、若手アーティストの作品を展示。